

# 2022年度版「耐震リフォーム達人塾オンライン版」 受講のご案内

東日本大震災による甚大な被害の発生や、南海トラフ巨大地震等の大規模地震発生の切迫性から、耐震化に対する県民の関心が高まっています。

鳥取県では、平成27年度から耐震化に取り組みやすい環境をつくり、木造住宅のより一層の耐震化を促進するため、名古屋工業大学高度防災工学研究センター等の協力を得て、低コストの耐震改修工法に関する講習会を開催してまいりましたが、残念なことに新型コロナウイルス感染拡大に伴い、対面式での開催が難しい状況であります。

そこで、継続的な「低コスト工法」の技術の普及のため、今年度は名古屋工業大学高度防災工学研究センターで開催されている「耐震リフォーム達人塾／オンライン版」の受講を案内します。本オンライン版は、御自分のペースでビデオを止めたり巻き戻したりできることや、何度でも繰り返し視聴できることから、学習効率が高いことが最大の利点です。

申し込み方法等は下記の通りになりますので、多くの方に受講くださいますようお願い致します。

主催	国立大学法人名古屋工業大学高度防災工学研究センター
共催	・特定非営利活動法人達人塾ねっと ・鳥取県生活環境部くらしの安心局住まいまちづくり課
受講対象者	①木造住宅の設計・施工に従事されている建築技術者 ②鳥取県木造住宅耐震化技術者 ③耐震事務担当の市町村職員等
受講期間	随時申込受付中
受講料 テキスト代	【受講料】：無料 【テキスト代】：4,520円(送料全国一律520円込み) 冊子5冊・パンフレット3部・チラシ3枚他 ※申し込み後、オンライン版受講のためのテキストとともに支払いの情報が「NPO 法人達人塾ねっと」より届きます。
申込方法	下記のいずれかの方法、または右のQRコードから申込下さい。 ■「NPO法人達人塾ねっと」のHP【 <a href="http://tatsujinjuku.net">http://tatsujinjuku.net</a> 】の オンライン版2022申込のメニューから「鳥取県」を選択。  ■鳥取県 HP ホーム → <u>県の組織と仕事</u> → <u>住まいまちづくり課</u> → <u>住宅・建築物の耐震化促進</u> → <u>2022年度版「耐震リフォーム達人塾オンライン版」 受講のご案内</u>
問合せ先	鳥取県生活環境部くらしの安心局住まいまちづくり課 〒680-8570 鳥取県鳥取市東町1丁目220番地 電話番号:0857-26-7234
お知らせ	これまでの対面式による講習会は、鳥取県主催で実施しておりましたが、オンライン版につきましては、名古屋工業大学高度防災工学研究センター主催で実施していただきます。対面式での講習会は新型コロナウイルス感染拡大が収まり次第、日程調整等おこなってまいります。ご了承ください。



達人塾オンライン版の概要については、裏面をご確認ください。

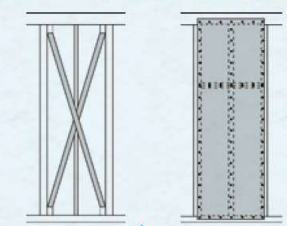
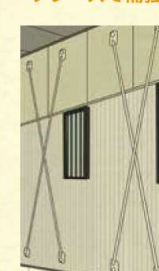
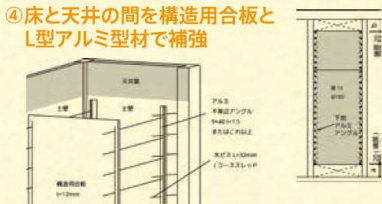
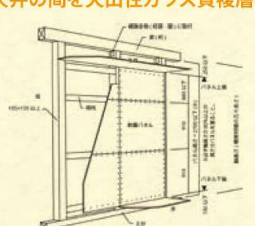
「達人塾オンライン版」の概要

- 1 第1講 耐震改修促進に向けた7つの鉄則 ～鉄則が巨大地震から日本を救う～
- 2 第2講 低コスト耐震補強の手引き解説 ～低コスト工法の全貌を知る～
- 3 第3講 ネットワークの重要性和行政の役割 ～高知に続け～
- 4 第4講 事例で学ぶコストダウンの隠しワザ ～耐震改修は仕事になる！～
- 5 第5講 住宅所有者への説明技術 ～信頼関係の構築に向けて～
- 6 第6講 精算法, 偏心率計算, N値計算の基礎
- 7 第7講 手計算で理解する精算法, N値計算法 (入門編)
- 8 第8講 手計算で理解する精算法, N値計算法 (応用編)
- 9 第9講 耐震診断・設計プログラムの操作方法と要点
- 10 第10講 設計演習課題 (1)
- 11 第11講 設計演習課題 (2)
- 12 第12講 設計演習課題 (3)
- 13 第13講 木造住宅の施工品質と耐震性能
- 14 第14講 施工者として知っておきたい補強設計のポイント
- 15 第15講 住宅の安全・安心について ～減災の心を理解しよう～
- 16 第16講 低コスト工法の隠しワザを現場で完全実演
- 17 第17講 改修設計の疑問すべて解決! 達人テクニックQ&A
- 18 第18講 改修現場の疑問すべて解決! 達人テクニックQ&A

これらを組み合わせることで、以下の各コースをはじめ受講者各位の習得目標に応じた、オリジナルプログラムでの受講が可能です。

- 「ベーシックコース」: 耐震改修未経験者、初心者に向けた入門コース。約3時間。
- 「アドバンスコース」: 経験はあるが、低コスト工法を習得するスキルアップコース。約6時間。
- 「エキスパートコース」: 徹底的な演習課題で耐震改修技術をマスターする上級コース。約6時間。
- 「施工演習コース」: 耐震改修専用工法の施工のノウハウと隠しワザを集めた実務演習。約3時間。
- 「設計演習コース」: 耐震診断ソフト・耐震改修設計の習得を中心とした設計演習。約5時間。

→低コスト工法を採用すると、既存の壁や床等の復旧工事が不要となり、工事費や工期が縮減できます。

壁全体で補強 (一般的な工法)		低コスト工法の一例		
①筋かいで補強	②構造用合板で補強	外から壁を補強	壁の一部で補強 (床や天井を壊さずに施工)	
 <p>一般的な工法でも、押入などの仕上げを気にしなくてよい箇所を中心に補強するなど、合理的な設計によっても、工事費を抑えることが可能!</p>		③外部から金属のブレースで補強 	④床と天井の間を構造用合板とL型アルミ型材で補強 	
			⑤床と天井の間を火山性ガラス質複層板で補強 	
(参考)一般的な工法である「①筋かいで補強」とのコスト比較				
①	②	③	④	⑤
100%	73%	46%	37%	69%

木造住宅低コスト耐震補強の手引き (愛知建築地震災害軽減システム研究協議会) より作成

○低コスト工法を採用することのメリット

- ① 少ない費用負担で安心を得られる。
- ② 外部工事だけにすることができると、あまり手間がかからず、施工期間も短縮できる。
- ③ 生活にあまり支障が生じることなく工事を行うことができる。

